

# BTA 10

## 取扱説明書

### 安全上のご注意

- 使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

**警告** この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

**注意** この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止（してはいけないこと）を示す記号です。

分解してはいけないことを示す記号です。

濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。

触れてはいけないことを示す記号です。

水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。

電源アダプタをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

### 警告

**ACアダプタは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。**  
万一の場合、ACアダプタを容易に引き抜くためです。

付属品以外の電源コードは使用しない。  
火災の原因になることがあります。

付属品のACアダプタを他の機器に転用しない。  
火災の原因になることがあります。

船舶などの直流（DC）電源には接続しない。  
火災の原因になります。

電源コードを束ねた状態で本機を使用しない。  
火災・感電の原因になります。

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。  
電源コードが破損して火災・感電の原因になります。

電源コードが破損した場合（芯線の露出や断線など）には、販売店または弊社東京サービスセンターに交換（有償）を依頼する。  
そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

タコ足配線しない。  
発熱により火災・感電の原因になります。

テーブルタップ（延長コード）を使用しない。  
発熱により火災・感電の原因になります。

雷が鳴りはじめたら、電源アダプタには触れない。  
感電の原因になります。

電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードを本機の下敷きしない。  
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

煙が出る場合、異常なおいや音がある場合は、すぐにACアダプタをコンセントから抜く。  
煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社東京サービスセンターに修理を依頼してください。

水道の蛇口付近や風呂場などの濡れている場所や水気の多い場所では使用しない。  
火災・感電の原因になります。

本機の内部に水などが入った場合は、ACアダプタをコンセントから抜いて販売店または弊社東京サービスセンターに点検を依頼する。  
そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

本機の内部に異物を入れない。  
万一、本機の内部に異物が入った場合は、ACアダプタをコンセントから抜いて販売店または弊社東京サービスセンターに点検をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

アルコール・シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しない。  
引火性溶剤が本機内部の電源部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

分解や改造をしない。  
感電の原因になります。

調理台や加湿器の近くなど油煙や湯気があたる場所に設置しない。  
火災・感電の原因になることがあります。

直射日光があたる場所や、温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばなど）に設置しない。  
キャビネットや内部回路に悪影響が生じ、火災の原因になることがあります。

オーディオ機器を接続するときは、それぞれの機器の取扱説明書に従い、指定のケーブルを使用して接続する。  
指定以外のケーブルを使用すると発熱し、やけどの原因になることがあります。

### 注意

濡れた手でコンセントを抜き差ししない。  
感電の原因になります。

長期間本機を使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜く。  
火災・感電の原因になります。

ACアダプタを抜くときは、電源コードを引っばらない。  
電源コードが破損して火災・感電の原因になることがあります。

ACアダプタは、コンセントの根元まで確実に差し込む。  
ACアダプタを正しく差し込まずに本機を使用すると、火災や感電の原因になります。

ほこりや湿気の多い場所に設置しない。  
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となります。

不安定な場所や振動する場所に設置しない。  
本機が落下や転倒して、けがの原因となります。

移動するときには電源スイッチを切り、すべての接続を外す。  
接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

薬物厳禁  
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また、接点復活剤を使用しない。外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

## Bluetooth® に関するご注意

本機は、2.4GHzの周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、一般家庭でもいろいろな機器（電子レンジやコードレスフォンなど）で使用されています。以下のような場所で本機を使用する場合、送信/受信ができなくなることがあります。

- 2.4GHzを利用する無線LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。（環境により電波が届かない場合があります。）
- ラジオから離してお使いください。（ノイズが出る場合があります。）
- テレビにノイズが出た場合、本機（および本機対応製品）がテレビ、ビデオ、BSチューナー、CSチューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。本機（および本機対応製品）をアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

### 注意

- 本機の使用によって発生した損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機は、全てのBluetooth機器との接続動作を保証するものではありません。
- 弊社ではお客様の接続機器に関する通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

### 安全にお使いいただくために

- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- 航空機内や病院など、使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。医療機関などの指示に従ってください。

### ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、該当の各医療用電気機器メーカーまたは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

### 電波法に基づく認証について

本機は電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の行為を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機を分解/改造すること。
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。

### 周波数について

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFHSS（周波数拡散方式）を採用し、想定される与干渉距離は約10mです。この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、弊社東京サービスセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談して下さい。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社東京サービスセンターへお問い合わせ下さい。

2.4 FH 1

### ▶ お手入れ

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた液を少し含ませた布でふき、その後乾いた布でふき取ってください。

### ▶ オンラインご愛用者登録のご案内

この度はHarman Kardon製品をご購入いただき誠にありがとうございます。弊社ではHarman Kardon製品のご購入者を対象に、ホームページにてオンラインご愛用者登録を行っております。ご登録いただいたお客様には、サポート情報やキャンペーン情報、新製品情報などHarman Kardon製品の最新情報をお送りいたします。

### ▶ アフターサポート

日本国内のアフターサポートに関する情報は、ハーマンインターナショナル株式会社ホームページに掲載しています。

<http://www.harman-japan.co.jp/>

日本国内のアフターサポートに関するお問い合わせは、ハーマンインターナショナル株式会社 東京サービスセンターまでご連絡ください。



- Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、Harman Industries, Incorporated は、これら商標を使用する許可を受けています。
- harman kardon はアメリカ合衆国およびその他の国で登録されている Harman International Industries, Incorporated の登録商標です。

HARMAN

ハーマンインターナショナル株式会社

© 2012 Harman International Japan Co., Ltd. All rights reserved.

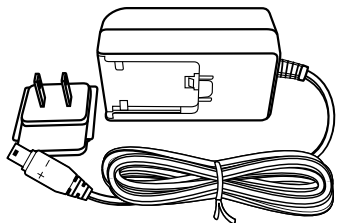
## 本機の特長

- ◆ お手持ちのオーディオ機器をワイヤレス対応に  
本機は、Bluetoothで受信した信号をアナログ音声信号に変換して出力するワイヤレスオーディオアダプターです。お手持ちのオーディオシステムの外部音声入力端子に接続して、スマートフォンなどのBluetooth機器とワイヤレス接続で音楽を再生できます。
- ◆ Bluetooth2.1+EDR 準拠  
スマートフォンなどのBluetooth機器とのペアリングは、PINコード自動入力での簡単設定。
- ◆ AACコーデック対応、A2DPプロファイル対応。  
従来のSBCに加え、AACコーデックにも対応。iOS4.3.1以降のiPhoneやiPad、iPod Touchであれば、更なる高音質ワイヤレス再生が可能です。

## 付属品

お使いになる前に、以下の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

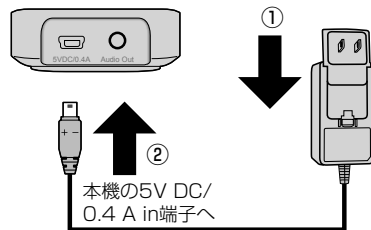
- ACアダプタ・ソケット



- オーディオケーブル (ステレオミニプラグ→ステレオミニプラグ)
- オーディオケーブル (ステレオミニプラグ→RCAピンプラグL/R)
- 日本語取扱説明書 (本紙)
- 多言語取扱説明書
- 保証書 (日本国内用)

## ご使用前の準備

### ▶ ACアダプタを接続する



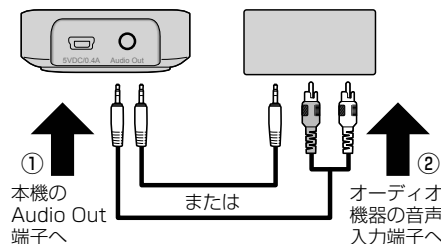
- ① ACアダプタに付属のソケットをセットする。  
左図のように上部からはめ込みます。カチッと音がするまでしっかりとセットしてください。
- ② ACアダプタを本体背面の5V DC/0.4A in端子に接続する。
- ③ ACアダプタを壁面のコンセントに接続する。  
本機は国内外でお使いいただけます。海外でご利用の際は、お使いになる国のコンセントに合った変換プラグが必要になります。

### ソケットのはずし方

ACアダプタのソケット接続部の下にあるPUSHスイッチを押すと、ソケットをはずすことができます。

### ▶ オーディオ機器を接続する

- ① 付属のオーディオケーブルを本機のAudio Out接続端子に接続する。
- ② 付属のオーディオケーブルをお手持ちのオーディオ機器の音声入力端子に接続します。  
本機には2種類のオーディオケーブルが付属しています。(3.5mmステレオミニプラグ、RCAピンプラグL/R)  
お手持ちの機器の音声入力端子の形状に合ったケーブルをお使いください。



## Bluetoothを使用して再生する

本機をお手持ちのiPhone・iPod・iPadやスマートフォンなどとBluetooth接続して、機器上の音楽をオーディオ機器のスピーカーで再生できます。

### ▶ ペアリングを行う

Bluetooth機能を使ってストリーミング再生を行うには、はじめに本機とBluetooth対応機器を認識させる「ペアリング」が必要となります。本機と機器を一度ペアリングすれば、その後に再度ペアリングを行う必要はありません。  
ただし、別の機器とペアリングを行った場合は、その機器と接続されている状態のため、接続を解除し、前の機器と再びペアリングを行う必要があります。

### iPhone/iPod/iPadでペアリングを行う

- ① 本機にACアダプタを接続し、ACアダプタをコンセントに接続する。  
本機のLEDランプがゆっくり点滅し、ペアリング設定状態になります。
- ② iPhone/iPod/iPadを、ペアリング設定状態にする。  
「設定」→「Bluetooth」の順にタップした後、「Bluetooth」を「オフ」から「オン」にします。  
Bluetoothに接続できる機器の一覧が表示されます。
- ③ デバイスから「HK BT 10」を選択します。  
「接続されました」と表示されたらペアリングが完了し、本機のLEDランプが点滅から点灯に変わります。

### その他の機器でペアリングを行う

以下の手順は一例です。詳細については、接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

- ① 本機にACアダプタを接続し、ACアダプタをコンセントに接続する。  
本機のLEDランプがゆっくり点滅し、ペアリング設定状態になります。

- ② 相手側機器を、ペアリング設定状態にする。  
接続する機器側で、本機を検出可能な状態に設定します。バスキーが必要な場合は「0000」と入力します。一部の機器では、接続を確認するメッセージが表示されます。  
ペアリングが完了すると、本機のLEDランプが点滅から点灯に変わります。

### 別の機器をペアリングするには

ペアリングしている機器のBluetoothをオフにし、別の相手側機器をペアリング設定状態にしてペアリングを行ってください。

### ▶ Bluetooth再生を行う

Bluetooth再生を行うには、ペアリングを行ったあと本機を再生機器として設定する必要があります。

### iPhone/iPod/iPadで設定する

- ① 音楽再生時に、 アイコンをタップする。



- ② 「HK BTA 10」をタップする。

### その他の機器で設定する

▷ 接続した機器で再生を始める。  
接続する機器によって再生の手順は異なります。詳細については、接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

## トラブルシューティング

原因	解決法
音が出ない。	ACアダプタ、オーディオケーブルが正しく接続されていることをご確認ください。
	ペアリングされているかご確認ください。
	接続している機器の音量をご確認ください。
	再生機器側の再生が一時停止になっていないかご確認ください。
ペアリングできない。	お手持ちの機器が本機と対応しているかどうかご確認ください。
	別の機器と接続していないかどうかご確認ください。音楽を再生したい機器を再接続する場合は、近くのペアリングされているBluetooth機器をすべてオフにし、ペアリングをやり直してください。

## 主な仕様

音声入出力	Bluetooth入力×1、 3.5mmステレオミニ出力×1
Bluetooth	Bluetooth2.1 + EDR
伝送範囲	Class 2 (通信距離約10m、障害なきこと)
対応プロファイル	A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) * AACコーデック対応
電源	ACアダプタ (100V ~ 240V 50Hz/60Hz)
外形寸法 (本体のみ)	幅50mm × 奥行50mm × 高さ17mm
質量	40g (本体のみ)

\*仕様および外観は、製品の改良のため予告なく変更することがあります。